

「光治良忌」催行のご報告とお礼

2022年3月23日

芹沢光治良先生のご命日（3月23日）にさき立つ3月12日、先生を偲び墓前に献花する「光治良忌」を催しました。

多くの方がたに献花頂き、有難うございました。

当日の沼津は、朝から晴天で穏やかな墓参日和になりました。

今年も、静岡県内ばかりでなく、首都圏からもご参加をいただきました。

米国にお住いの、先生のご親族さまも御多忙な東京滞在の予定を縫ってお出かけ下さり、来苑の方がたと言葉を交わされ、報道取材にも快く応じて下さいました。

また、昨年亡くなられた岡玲子さま（芹沢先生の四女）の思い出をお話くださった方もおられました。心にしみるお話でしたが、別の機会に改めてご紹介申し上げます。



【「芹沢光治良／その家族／の墓」 静岡県沼津市 3月12日：芹沢光治副代表撮影】

いま、世界の動きを見ますと、先生が遺された『人間の運命』や『巴里に死す』を再び精読しなければ、との思いに駆られます。

人間の精神の「限界と可能性」について、芹沢文学に真摯に学ぶ姿勢が求められていると、先生の墓前で気づかされました。

改めて皆さまのご賛助にお礼申し上げます。

沼津 芹沢光治良文学愛好会 代表 不破 久温